

2 個別事業評価調書

団体名 伊根町

事業名		住宅背後地緊急保全事業					
事業の概要		7月の梅雨前線豪雨等により 集落の背面に位置する作業道の一部に崩壊の恐れがあり 放置しておく事により 下側民家への土砂流入が予想され危険な状態であった。そのため、作業道を補修する事により 下側民家への安全を図る。					
		平成 18年度伊根町農林業生産基盤整備事業 事業費1,744千円 作業道整備 L = 16m 内訳 町補助金523千円(内未来づくり交付金261千円) 地元負担金1,221千円					
		事業期間	平成 18年度				
		総事業費	523	本年度事業費	523	交付金交付額	261
事業評価	事業の必要性	7月の梅雨前線豪雨等により 集落の背面に位置する作業道の一部に崩壊の恐れがあり 緊急な対応を必要とされたため					
	事業の有効性	作業道を改修することにより 下側民家の被災防止が図られ、安心と安全の暮らしを確保できた。					
	事業の効率性	作業道を改修することにより 下側民家の被災防止が図ると同時に、作業道を整備する事により施業の省力化が図る事ができた。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果 住宅背後地の崩落棄権箇所の改修案を受益地の方々と検討するのにあたり 背後地集落の防災意識の向上が図れた。					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果 背後地集落の安心安全の暮らしの確保を図れた。							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること